

理数科校外学習 上高地の自然観察

7月14日(水)理数科1,2年生が校外研修で長野県の上高地を訪れ、自然観察を行いました。

上高地は中部山岳国立公園の一部で、周辺を美しい北アルプス穂高連峰に囲まれた標高1500mの地です。梓川の清流が流れる河畔には湿原が広がり、自然観察ができる研究路が整備されています。

バスから降り、焼岳の噴火で堰き止められた大正池の畔から広がる美しい山岳の景色に生徒たちは見とれていました。ここから1時間ほどをかけて歩きながら、湿原の植物を中心に観察しました。

高校のある美濃加茂市と違い7℃ほど気温が低く、湿原の土壌であるため、植生の違いもはっきりと観察できまし



た。一方で、湿原の多くはササに覆われ、遷移の途中にあることが感じられました。長い時間の流れの中で、現在みられる美しい自然の姿は有限のものであり、大切にすべき貴重なものという思いを生徒は持ってくれたでしょうか。



上高地の顔である河童橋に到着し、昼食をとったのち、班別で周辺を探索しました。梓川の冷涼な流れに足を浸しながら、魚影を探したり、ビジターセンターを見学して理解を深めたり、各班で興味の赴くまま上高地の自然を体感できました。



当日は雷雨の予報もあり心配していましたが、現地では雨に降られずに自然観察ができました。おかげで上高地を代表する樹木のケショウヤナギの種子の綿毛が風に乗って流れる美しい「柳絮」を見ることもでき大変幸運でした。



余談

帰校した時には大雨警報が出されるほどの激しい雨となり、しばらく学校で待機することになりました。しかし、これも一つの思い出となるほど、生徒たちには充実した一日となったようです。

○生徒の感想

- ・自然にふれあい、自分で感じることで新しい発見に繋がったことが多くて良かったです。美濃加茂とは違う地形の植物を観察することで、新たな発見があった。
- ・遠くて、時間もかかったけど時間かけてでも行く価値はあったと思った。川の水も綺麗で、自然いっぱい楽しかった。近い距離で野生の猿が見え、上高地に行かないと触れ合えない自然に出会えた。
- ・雄大な自然を堪能でき楽しかったが、事前学習のうちに調べようと思っていたこと（動物及び植物一部）が確認できなかったことが少し残念だった。
- ・グループの中でそれぞれが事前学習で調べてその知識を使って会話できたのが良かったです。
- ・涼しかったし、ゴミなど落ちてなくてきれいに自然が管理されていた。事前学習で植物を調べたおかげで花の名前がわかったり、この季節にある花を探したりすることができた。
- ・事前学習で学んできた以上に美しい景色にとっても驚きました。また、この景色

を何年も守ってきた人たちの努力にも驚かされました。

・普段見られない植物を見ることが出来て楽しかった。2年生の先輩方は調査目的を持っていて、自分は観察ぐらいしか目的がなかったので、今後こういう機会には何か調査目的を持てるようにしたいと思いました。

